

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 6月 22日

群馬県知事 様

提出者 〒377-0007

住 所 群馬県渋川市石原500番地

氏 名 大同特殊鋼株式会社渋川工場

執行役員渋川工場長 広瀬 尚史

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0279-25-2000

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大同特殊鋼株式会社渋川工場
事業場の所在地	群馬県渋川市石原500番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：製造業 中分類：鉄鋼業
②事業の規模	製造品売上高：58,044百万円/年（令和4年度）
③従業員数	451名（令和5年3月31日現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	表1による。

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 表2による。 (管理体制及び管理方法) ①各職場の管理者等による廃棄物置場の点検を定期的実施し、分別管理状況の監視を行う。 ②工場内から発生する廃棄物の処理に係わる標準を整備し、従業員に教育する。 ③電子マニフェストシステムにより適正な処理を確認する。 ④産業廃棄物処理業者実地審査を定期的実施し、管理状況を確認する。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1のとおり

①現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

別紙1のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙1のとおり	
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙1のとおり	
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙2のとおり

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	別紙2のとおり	
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

表 1. 産業廃棄物の一連の処理の工程

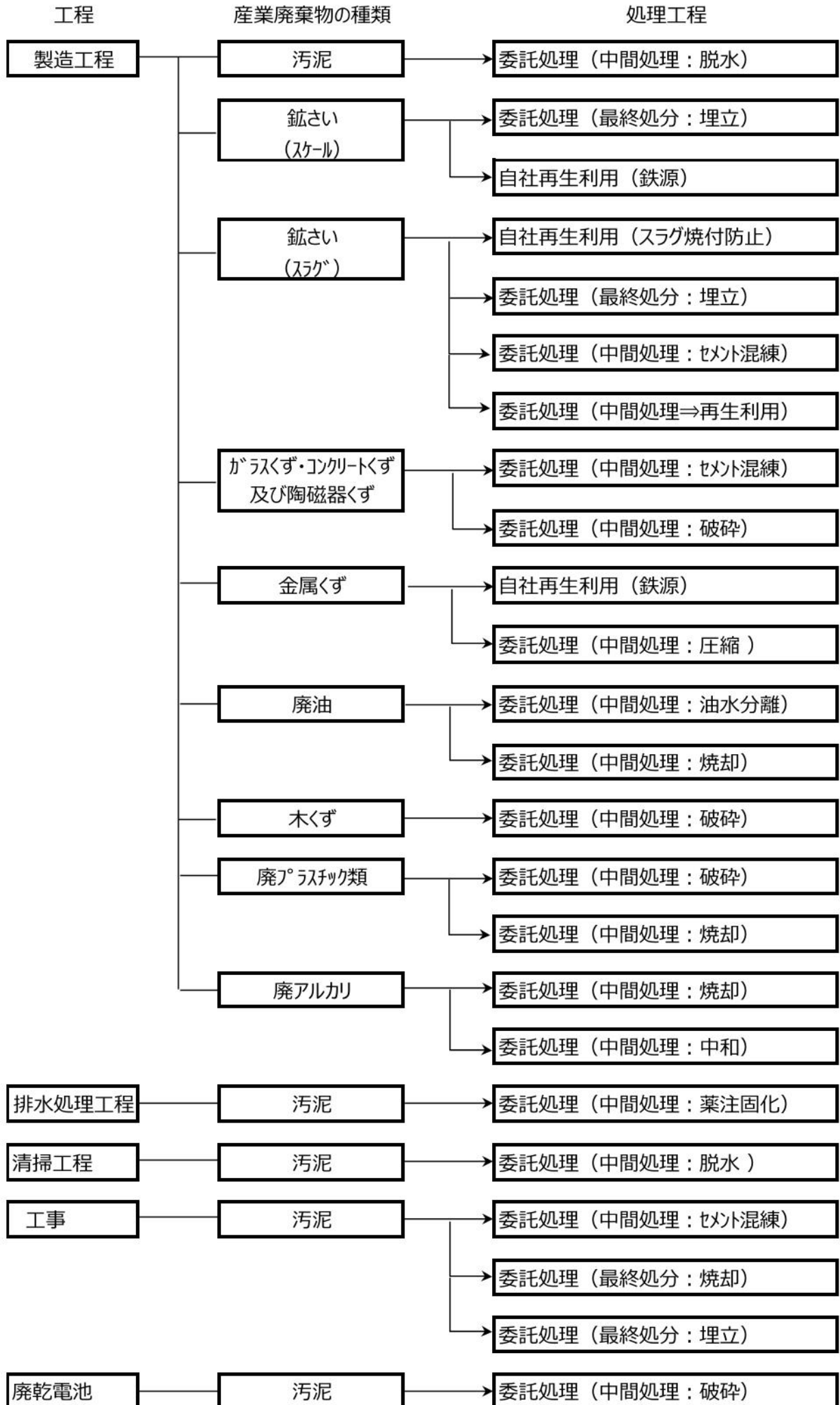
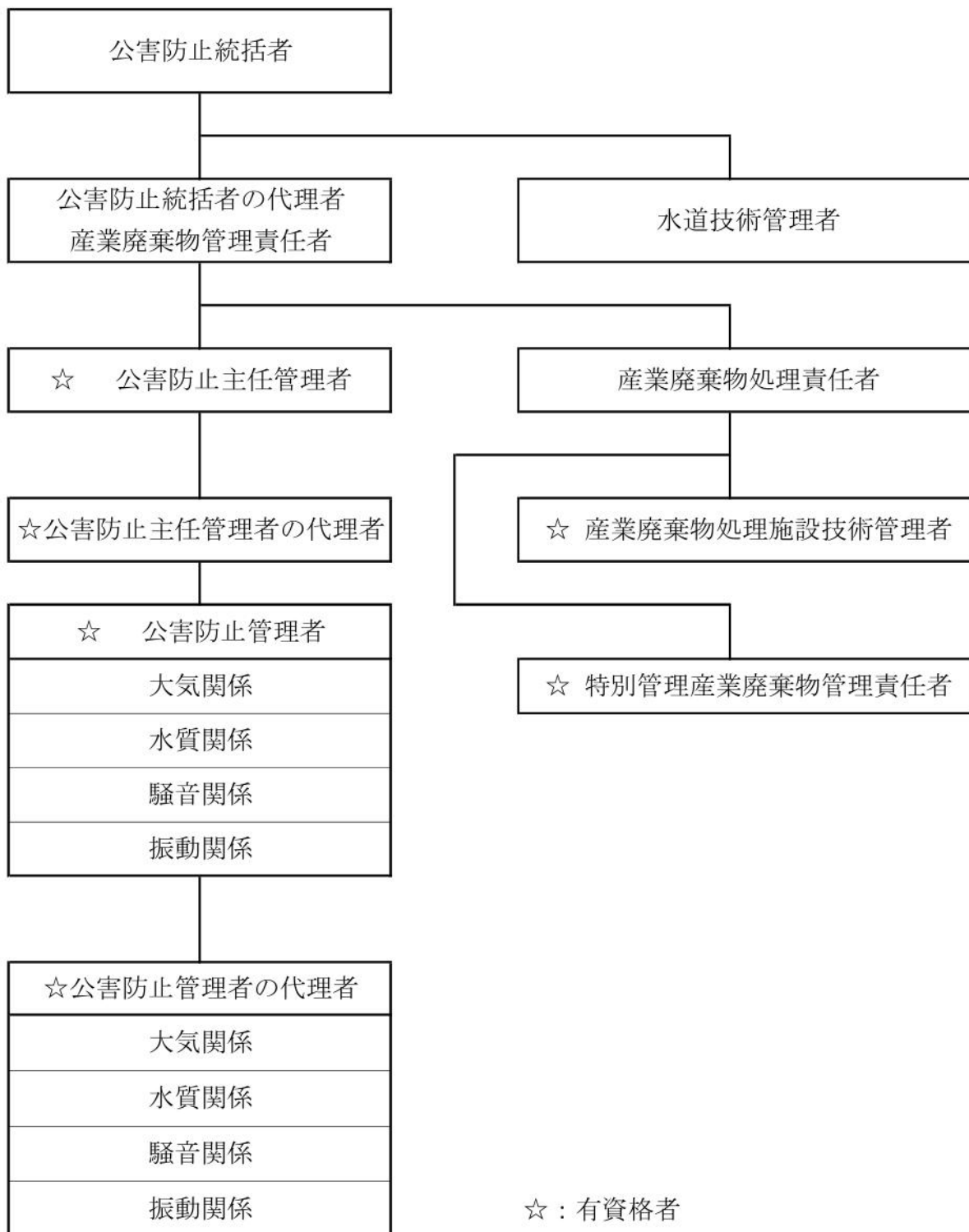


表 2. 管理体制図

渋川工場環境管理組織図



【前年度（令和4年度）実績】		汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属 くず	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アル カリ
①現状	産業廃棄物の種類										
	排出量	5,810t	783t	17,280t	8,116t	281t	86t	219t	51t	0t	9t
(これまでに実施した取組) 鉍さい（スラグ）発生抑制のための技術開発を行った。											
【目標】		汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属 くず	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アル カリ
②計画	産業廃棄物の種類										
	排出量	5,600t	780t	17,000t	8,100t	280t	100t	220t	50t	1t	10t
(今後実施する予定の取組) 廃棄物発生抑制のための技術開発を継続する。											

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程毎の分別を強化を行った。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工程毎の分別強化を継続し、それぞれの工程に適した再利用、再生利用推進する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】		汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属 くず	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アル カリ
①現状	産業廃棄物の種類										
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0t	783t	542t	1,865t	273t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 電気炉において鉍さい（スケール）を溶解し、鉄源として回収した。											
【目標】		汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属 くず	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アル カリ
②計画	産業廃棄物の種類										
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	780t	540t	1,900t	270t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 工場内で発生する金属くずを溶解する工程を確立する。											

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】		汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属 くず	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アル カリ
①現状	産業廃棄物の種類										
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,085t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組) 排水処理汚泥の脱水による減容化を行った。											
【目標】		汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属 くず	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アル カリ
②計画	産業廃棄物の種類										
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	4,000t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組) 脱水後の含水率を可能な限り低減する。											

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】											
産業廃棄物の種類	汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属屑	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	
①現状	全処理委託量	1,103t	0t	16,738t	6,251t	8t	86t	219t	49t	0t	9t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,072t	0t	10,788t	0t	0t	86t	0t	0t	0t	9t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	2,740t	0t	8t	8t	219t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	76t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組)											
処理委託先については優良認定処理業者の活用を推進する。											
【目標】											
産業廃棄物の種類	汚泥	鉍さい (スケール)	鉍さい (スラグ)	ガラス屑及び 陶磁器屑	金属屑	廃油	木くず	廃プラスチック類	廃酸	廃アルカリ	
②計画	全処理委託量	1,600t	0t	16,460t	6,200t	10t	100t	220t	50t	1t	10t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,500t	0t	8,230t	0t	0t	100t	0t	0t	1t	10t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t	2,800t	0t	10t	10t	200t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	80t	0t	0t	0t	0t
(今後実施する予定の取組)											
処理委託先について、優良認定処理業者の活用推進を継続する。											